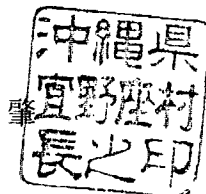


宜 企 第 3 7 5 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

宜野座村長

東



今後の道路行政についての意見・提案について (提 出)

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました
みだしのことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖 縄 県 宜 野 座 村

- ・道路整備の効果の考え方について、道路は社会基盤の中心的施設であり、それが果たす役割は多大なものである。特に国道に関しては、県道、市町村道がそれに付随するように国道に接続しているのがほとんどで市町村道は地域の隅々まで影響を及ぼしており道路整備は、経済効果等の数的試算によるものだけでなく、住民の状況、地域の長期的発展を目標に考慮すべきと考えます。
- ・電線の地下埋設による無電柱化により、景観の改善と交通事故の被害の軽減が図れるものと考えます。
- ・道路事業としてウォーキング道路、自転車道路等、地域住民の生活並びに健康づくりになるような整備の制度創設を提案します。

②－１ 地域の現状と抱える課題

沖縄県宜野座村

○現状

- ・ 本村の道路の現状は、国道一路線、県道三路線の他村道があり、近隣市町村からの道路は、国道３２９号、県道７１号名護宜野座線、そして、沖縄自動車道宜野座インターチェンジがある。

しかし、金武町から本村への進入路は一般道では、国道一路線しかなく、海岸沿いで河川を横断する現況であり災害による交通の遮断が起こることに対して不安を抱えている。

- ・ 国道３２９号宜野座地区改良について、近年の財政圧縮により一部計画変更が起こり、事故の多発地点が改良されない状況になっている。
- ・ 本村は、リゾート計画が進行しており観光産業による雇用、農・漁業の発展にも繋げる期待するところである。

○課題

- ・ 広域ネットワーク道路の整備、集落内の交通回避および安全性の充実を図るため、国道３２９号宜野座バイパスの整備を促進するとともに、広域東西ネットワークの充実を図る宜野座村西部幹線道路の整備による経済流通、人的移動で地域活性化を図り、併せて災害時の対応道路が必要とされている。

- ・ 地域からも未改良部の早期の計画及び実施の要望があり、改善をしなければならない。

- ・ 観光の振興、農漁業の振興を図るには基盤となる道路整備が必要である

②-2 地域の目指すべき将来像

沖縄県宜野座村

- ・第4次宜野座村総合計画の基本構想による「水・緑・太陽ネットワーク構想」において、個別に整備してきた、自然環境、地域文化資源、主要施設を空間整備(道路)、活用等でネットワークの整備を行なう。
- ・近隣市町村、西海岸地域との連結により、村民の利便性の向上や経済的活動、内外交流の促進に資する幹線道路網の構築を行なう。
- ・宜野座村特産品センター及び周辺の整備による道路通行者へのサービス、地域住民の経済活動を兼ねた「道の駅」施設の整備を行なう。
- ・村内環状路線の構築と放状路線の整備を行なうことにより、両路線が相乗効果を発揮し土地の有効利用を図る。
- ・道路改良、歩道設置、幅員拡幅等の道路整備を行ない地域内の安全性を向上させる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

沖縄県宜野座村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 近隣市町村連結道路の整備	・ 宜野座村西部幹線道路整備事業 ・ 宜野座村金武町連絡道路整備事業	・ 人的、物的移動による経済活動の向上と地域の活性を促進させることができる。 ・ リゾート施設間の移動が、円滑に行なうことができ、観光振興が図れる。 ・ 地域の交通安全並びに本道路周辺の土地利用による地域の発展を図ることができる。	・ 万が一の災害に対して支障なく対策できる。
・ 国道３２９号改良事業	・ 国道３２９号宜野座改良		